

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	編輯後記
Author(s)	
Citation	龍南, 2 1 1 : 1 4 0 - 1 4 0
Issue date	1929-12-10
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/6911
Right	

後 記

論文三篇、創作十五篇詩七篇短歌六篇句四篇中より上掲の當選作を得た。數に於ても例年に遜色のなかつた事を心強く感じた。

論文は宇佐美・河瀬、竹下諸教授、創作を河瀬、渡邊、田中諸教授、詩歌句を上田(英)教授の御厚意にあつた。

例年の通り選者評を添へたかつたが都合に依り中止しなければならなかつた。

論文三篇は些か寂寥の感を免れないが、待鳥君の一篇は、實に於て、補ひ得る事を確信する。創作十五篇は昨年に比して全体のレベルの高まつた事は諸教授の評であつた。詩歌の方は餘り香しくなかつた。句は粒揃ひの由、

三十餘篇全体として見る時、思想善導されてゐる龍南人の風貌を窺ふ事が出来た。僅かの動きを詩に於て感じさせられるが、それとても所ではあるまいか。吾々の環境としては創作其他に於ての現狀は一應の肯定は許されればなるまいが、論壇の不振はどうした事なのか、哲學の貧困は云々されるにしても、龍南論壇の沈靜は寂しい。然し龍南其自身の問題に歸ると仕方もない事かも知れない。故にはを以て龍南精々の饗宴と許して戴けばしいか。

表紙及び扉は村上狂爾氏にお願いした、劃期的なもので諸兄の賞讃を豫期してゐる。

